

令和2年度 特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧

整理 番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
1	<p>提案委員:酒井 京子委員</p> <p>【地域課題】 少子化・老人化・人口減と一人暮らし・二人暮らしの増加, 商店の撤退, 不安解消のために必要なのは地域の助け合い。</p> <p>【アイデアなど】 「いきいきお達者プロジェクト」について, 令和元年度はどこまで進行しているのか。どこまでふくらませているのか。上記の課題そのままと思うので, 進めてほしい。</p>	・健康福祉課	<p>高齢者が心も身体も健康(お達者)で安心して過ごすことができ、ともに支え合う地域づくりを進めることを目的に、「いきいきお達者プロジェクト」として、下記のとおり事業を展開しています。</p> <p>○民生児童委員の協力で、高齢者等の見守り訪問を行い介護サービスや予防事業に結びつける対策を実施。</p> <p>○介護予防などを目的に、作業療法士や言語聴覚士等を地域の茶の間に派遣している。今年度は、音楽療法士の派遣も始めた。H30年度派遣回数は35回、今年度は54回の予定。</p> <p>○認知症サポーター養成講座修了者を対象に、認知症当事者と実際に接する機会を与え、地域でのボランティア活動に結び付ける、傾聴ボランティア(にしかんオレンジパートナー)の育成。</p> <p>○地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進に向けた研修会として、11月9日(土)午前10時から西川多目的ホールで災害時の避難支援についての講演会を実施し、地域の助け合いについて意識を高める。</p> <p>○西蒲社協、地域包括支援センター、支え合いのしくみづくり推進員、民生児童委員等と連携し、地域の見守り・支え合い意識を醸成。</p>
2	<p>提案委員:塩澤 敏男委員</p> <p>【地域課題】 ①高齢者の孤立とひきこもりを防ぐ(10年後、20年後。寿命の延びで社会とのつながりが不安) ②初めて赤ちゃんを育てる母親支援 ③地域交通</p> <p>【アイデアなど】 地域交通に関する長期的な区ビジョン(高齢者の移動支援に関して、買い物、通院等が目的であると感じるところが多いが、外出自体が介護予防にもつながる。)福祉と交通を考えることが重要。住民の社会参加のため、足の確保が必要。</p>	・健康福祉課 ・地域総務課	<p><健康福祉課> ①地域の茶の間やサロン事業等を充実させるとともに、これらの事業を、より狭いエリアで展開し、居住地の近くに集いの場を創設することを支援しています。</p> <p>②生後4か月までの乳児のいる全家庭を助産師等が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」や、子育てに不安を感じる親同士が学び、育児の不安や孤独感の軽減、仲間づくりを支援する「NPプログラム」を実施しています(「BPプログラム」の実施も検討中)。</p> <p>③福祉バスなど、今ある地域交通の利用促進に努めると共に、地域のささえあい活動を促進しています。</p> <p><地域総務課> ③今年度末で計画期間が終了する「西蒲区生活交通改善プラン」の改定作業を進めており、その中で、福祉政策との連携や高齢者の利用目的に沿った施策等を検討するなど、区内公共交通全体の活性化と利便性向上を図り、持続可能な交通環境の実現を目指します。 なお、新潟市では高齢者の外出を促すことによる健康寿命延伸などを目的として、65歳以上の市民のバス運賃を半額とする制度を実施しています。</p>